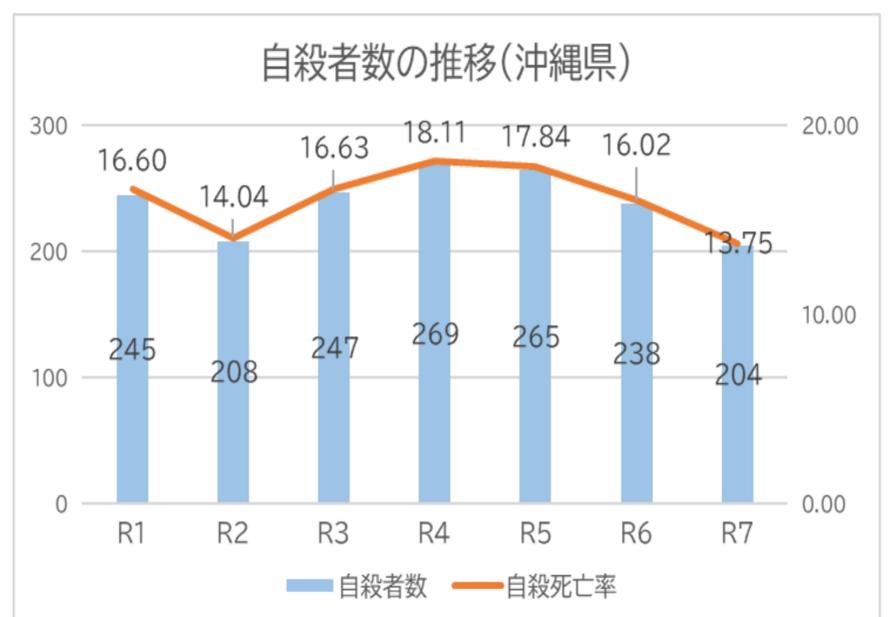
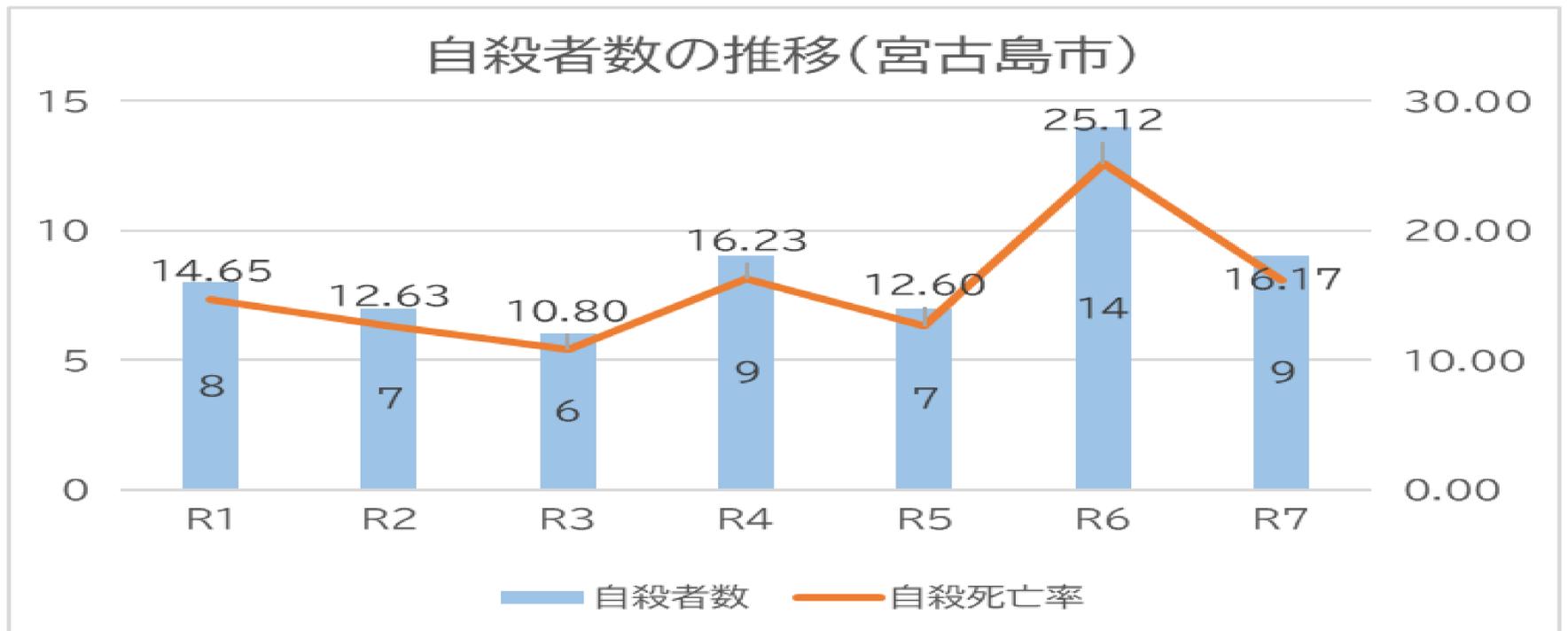
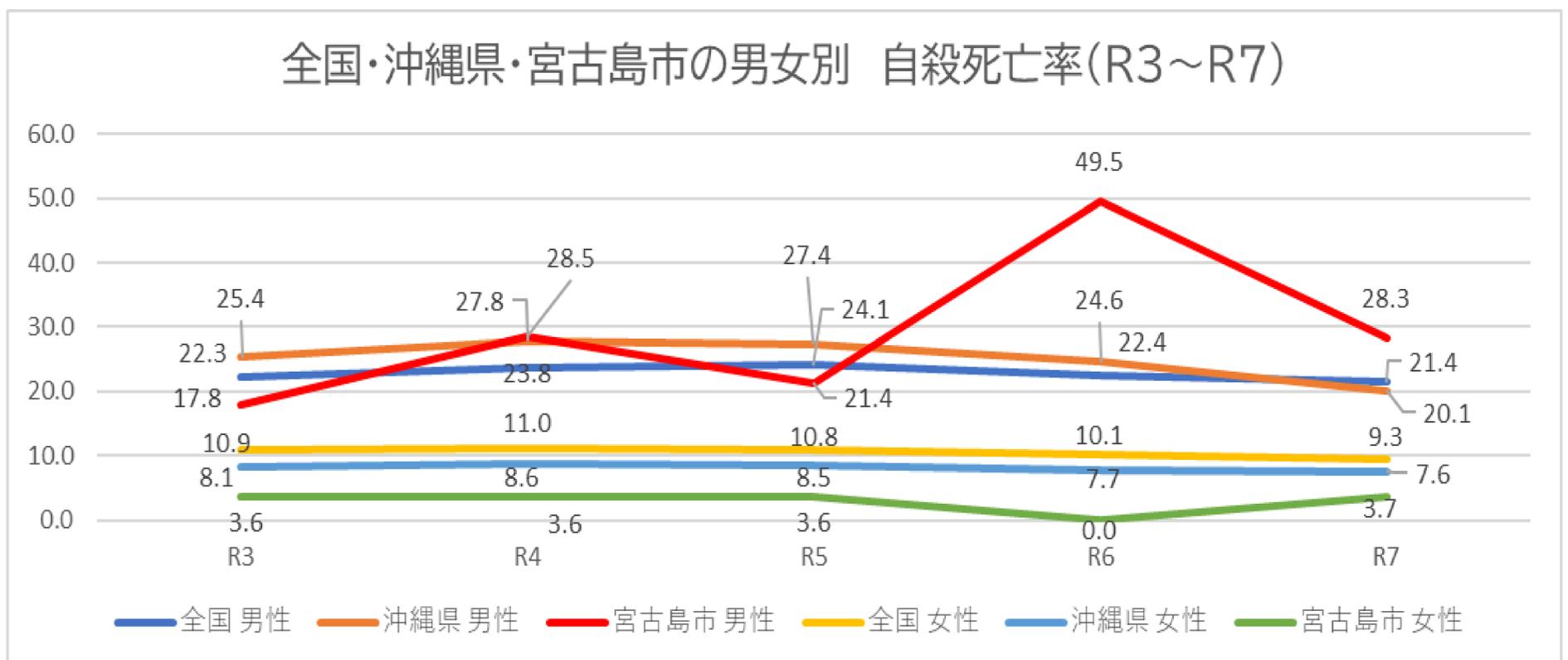


宮古島市の概要①



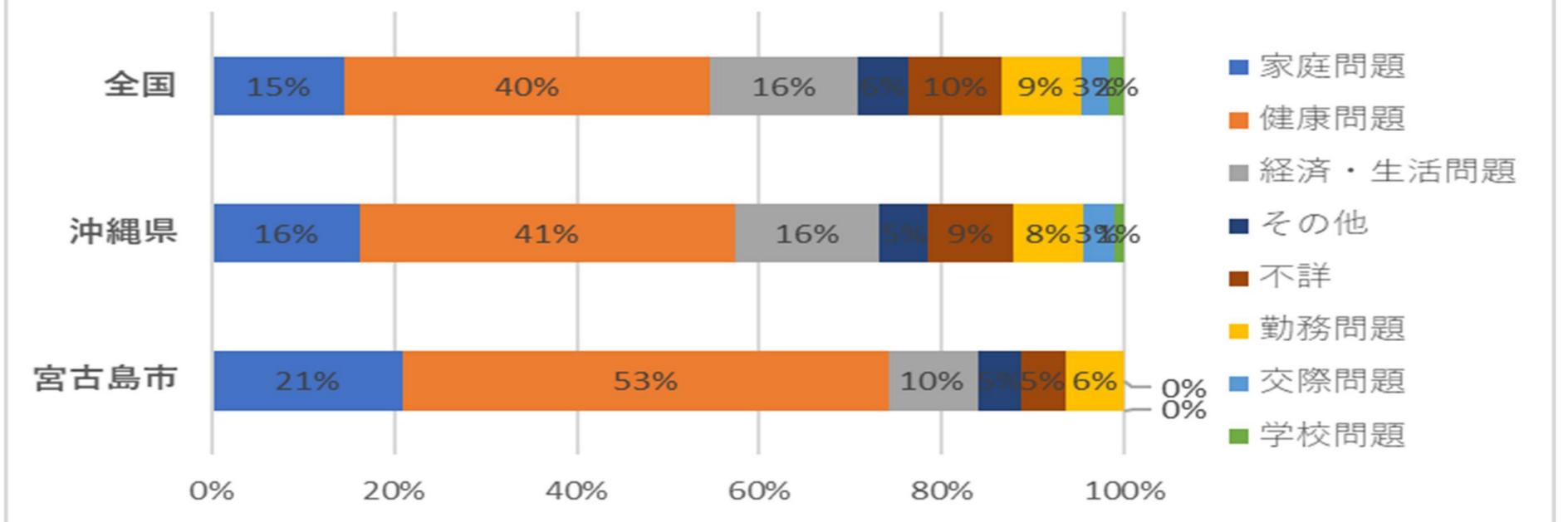
全国・沖縄県は、令和5年から減少傾向にある。
 宮古島市は、令和6年に14名と増加したが、令和7年は9人に減少。
 しかし、自殺死亡率は、全国・沖縄県と比較しても、高い傾向にある。



宮古島市の男性の自殺死亡率は、令和6年には49.5と突出していた。
 令和7年は28.3と減少したものの、国・県と比較しても、高い傾向にある。

宮古島市の概要②

⑥全国・沖縄県・宮古島市の自殺の原因・動機の内訳割合 (R3～R7)



地域における自殺の基礎資料(厚労省)

全国・県・宮古島市ともに「健康問題」、「家庭問題」が多く、全国・県よりもその割合が高い。

- 健康問題・・・病気の悩みや影響：身体疾患（がん）、精神疾患（うつ）など
- 家庭問題・・・夫婦関係、親子関係の不和、虐待、介護・看護・子育ての疲れなど
- 勤務問題・・・職場の人間関係、配置転換、長時間労働、解雇・雇い止めなど
- 経済・生活問題・・・事業不振、倒産、負債（多重債務・連帯保証人）、奨学金の返済苦など

宮古島市の主な自殺者の特徴(令和2年～令和6年合計)

地域自殺実態プロフィール2025

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率 (人口10万対)	背景にある主な自殺の危機経路
1位: 男性60歳以上 無職同居	13	30.2%	91.5	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
2位: 男性20～39歳有職同居	5	11.6%	30.9	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
3位: 男性40～59歳有職同居	5	11.6%	21.7	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位: 男性60歳以上 有職同居	4	9.3%	22.2	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺
5位: 男性60歳以上 有職独居	3	7.0%	76.1	配置転換/転職+死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺

過去5年間の統計から...

①60代以上の男性が多い。※年齢に幅がある

②同居している人が多い

全国の統計からみて、予測される主な危機経路

宮古島市自殺対策行動計画

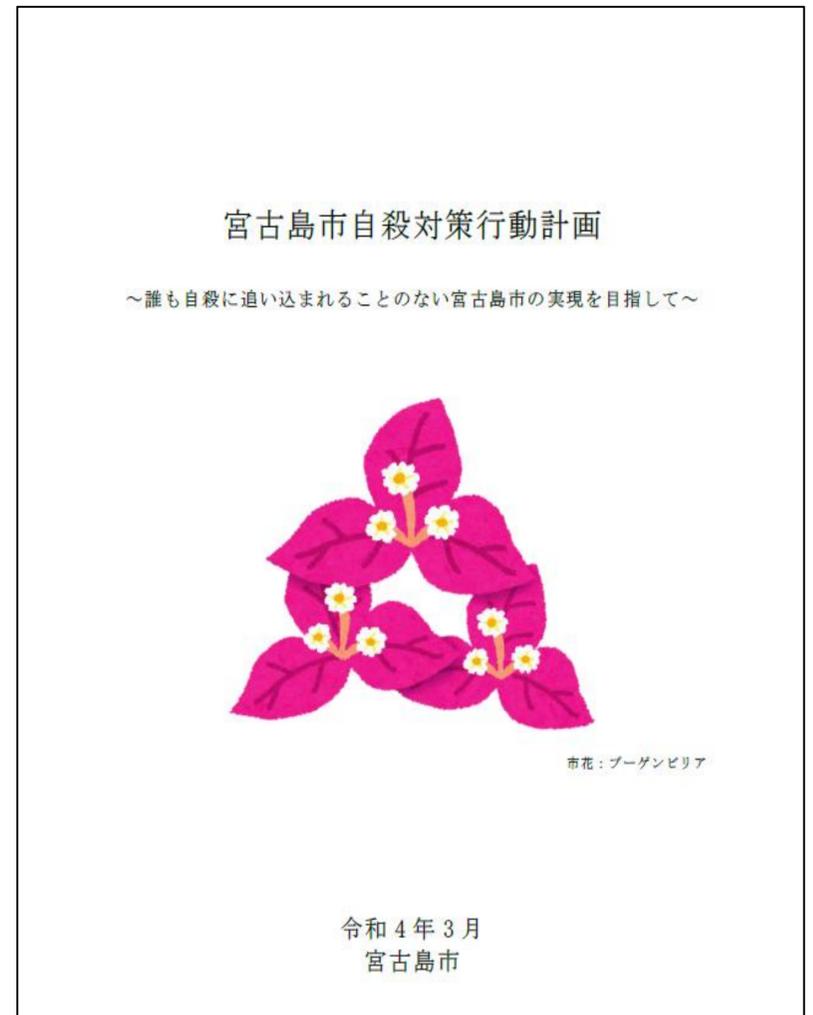
宮古島市自殺対策行動計画 (令和4年3月策定)

令和元年の自殺死亡率14.7
(自殺者数8人)



令和8年までに概ね30%程度
減少させる。(自殺者数5人)

※最終的な目標
「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現



いのち支える自殺対策における施策の構成

「基本施策」

- 1 地域におけるネットワーク強化
- 2 自殺対策を支える人材の育成
- 3 市民への啓発
- 4 生きることの促進要因への支援
- 5 児童、生徒のSOSの出し方に関する教育

「重点施策」

- 1 高齢者の自殺対策
- 2 生活困窮者の自殺対策
- 3 勤務問題に関連した自殺対策

「生きる支援の関連施策」

自殺対策に資する庁内・関係機関の関連事業や取り組み